

# モニタリング結果報告書 (平成27年度)

## 1. 施設概要

施設名	厚木精華園		
所在地	厚木市上荻野 4 8 3 5 - 1		
サイトURL	<a href="http://www.kyoudoukai.jp">http://www.kyoudoukai.jp</a>		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間	H18. 4. 1～H28. 3. 31	施設所管課	障害福祉課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はA評価、利用者の満足度及び収支状況はS評価となったため、3項目評価はS評価となった。            今後の方針としては、引き続き高齢知的障害者支援のノウハウの普及啓発、施設入所利用者のグループホーム等への地域移行を積極的に進めてもらい、県立福祉施設としての役割を担ってもらいたい。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>【管理運営等の状況】            高齢知的障害者支援の実績から関係機関、施設等からの見学依頼（28団体、366名）があり、毎月開催している高齢者支援セミナーには51団体、360名が参加した。高齢知的障害者への支援のノウハウを民間事業者へ積極的に発信した。</p> <p>【利用状況】            施設入所、生活介護、短期入所の利用充実を図り、計画的に利用者を受入れることにより、利用者数は安定した数値となっている。利用状況の対前年度比が、101.8%となりA評価となった。</p> <p>【利用者の満足度】            重度の知的障害のため、4段階評価による評価は困難であることから利用者家族を対象に満足度調査を実施。上位2段階の回答割合が93.1%となったため、S評価となった。            家族の高齢化により、来園機会が少なくなっていることもあり、回収率が38.7%と低かった。家族との連絡をこまめにとるなど、未回収の家族への配慮等について改善策の検討を依頼した。</p> <p>【収支状況】            収支のバランスは良好である。利用者の計画的な受入れにより、利用料金収入は安定している。利用料金収入の安定、光熱水費の節減努力等により、収支差額は当初予算比190.8%となり、S評価となった。</p> <p>【苦情・要望等】            職員対応に関する苦情が9件、その他の苦情が3件寄せられたが、速やかに謝罪及び再発防止策を講じ、対応を行った。</p> <p>【事故・不祥事等】            利用者の高齢化に伴い、骨折や怪我のリスクが高まっている。生活環境を毎月点検し、事故の未然防止に努めている。</p> <p>【労働環境の確保に係る取組状況】            県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>	

3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
S	

## 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

#### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設運営、経営の強化を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の身体的特性に合わせた課移動と新規入所者11名を受入れた。</li> <li>・高齢者支援セミナーを毎月開催し51団体の登録、360名が参加、見学者は28団体、366名を受入れた。</li> <li>・予算執行管理に努め、LED交換、脱衣場床張替え等の環境整備を実施。</li> </ul>	LEDに交換したことにより、光熱水費は前年度比約20%の削減を実現した。
利用者支援の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術研修を4回、感染症、緊急時対応訓練を実施、福祉機器（移乗用リフト）を2台導入した。</li> <li>・医療的ケアに継続的に取組み、職員77名が認定書を取得した。</li> <li>・園内余暇の充実として福祉ネイル、コンビニの訪問販売等を毎月実施。</li> </ul>	
権利擁護、虐待防止への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権委員会、利用者自治会、虐待防止委員会、オンブズマン相談会を毎月実施。</li> <li>・家族向けアンケート、職員の自己チェックリスト、来園者向け簡易アンケート実施。</li> </ul>	
地域との積極的な連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献を目的に各事業を積極的に実施。地元自治会、行政、NPO災害時行動支援ネットと協働し要援護者福祉避難所受入れ訓練及び避難行動訓練を実施し約200名参加。</li> </ul>	

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等

#### 5. 利用状況

評価	《評価の目安》
A	目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	35,163	37,171	37,837
対前年度比		105.7%	101.8%
目標値	110	110	110
目標達成率			

目標値の設定根拠： 社会福祉入所施設であり目標値の設定が困難であるため

利用者数の算出方法（対象）： 施設入所者の延べ人数

[ 参考：最大利用可能人数／年 ]

	施設入所	短期入所	生活介護		合計
定員	110	2	140		
年間利用可能日数	366	366	305		
最大人数※	40,260	732	42,700		83,692
稼働率					

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	利用者自治会の定期的開催	利用者家族を対象に満足度調査を実施。面会に来られない方へは調査票を郵送し、回答してもらったが、家族の高齢化、来園機会が減少している理由から評価することが難しいという家族からの意見もあり、回収率が38.7%と低かった。改善策を検討中である。

### [ 施設としての総合的評価 ]

質問内容 現在、厚木精華園の運営体制・支援体制に満足していますか。

実施した調査の配布方法 直接配布、郵送 回収数/配布数 58 / 150 = 38.7%

配布(サンプル)対象 施設利用者の家族

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
施設としての総合的 評価の回答数	47	7	4		58	・細かいところまで気配り されている。
回答率	81.0%	12.1%	6.9%			
前年度の 回答数					0	
前年度回答率						
回答率の 対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

### [ 参考：職員の対応状況 ]

質問内容 意見・要望を伝えたとき、真摯に素早い対応を行っていますか。

実施した調査の配布方法 直接配布、郵送 回収数/配布数 58 / 150 = 38.7%

配布(サンプル)対象 施設利用者の家族

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	39	12	2		53	・部屋の整理整頓等、細 かい気配りが出来てい る。
回答率	73.6%	22.6%	3.8%			
前年度の 回答数					0	
前年度回答率						
回答率の 対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

### [ 参考：その他 ]

施設利用者の大半が重度の知的障害を有しているという理由から4段階評価による満足度調査は困難であると判断し、平成27年度より利用者家族向けに調査を実施した。

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：プラスの施設が該当 収支差額の決算額/収支差額の当初予算額の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[ 指定管理業務 ]

(単位：千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	229,957	532,302	8,875	備考欄参照	771,134	732,260	38,874	
	決算	229,957	556,925	109,278	備考欄参照	896,160	948,579	-52,419	-134.84%
前年度	当初予算	236,724	575,580	6,951	備考欄参照	819,255	783,102	36,153	
	決算	232,629	621,140	10,635	備考欄参照	864,404	838,081	26,323	72.81%
27年度	当初予算	235,331	587,729	7,189	備考欄参照	830,249	783,262	46,987	
	決算	235,331	587,460	12,738	備考欄参照	835,529	745,880	89,649	190.80%

※収支差額の当初予算額-収支差額の決算額/収支差額の当初予算額

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 / 70,000

<備考> その他収入の内訳

○25年度		決算	
当初予算		・寄付金収入	2,793
・補助事業等収入	41	・雑収入	10,026
・雑収入	8,834	・受取利息配当金収入	67
		・経理区分間繰入金収入	4,151
		・施設整備等寄付金収入	241
		・移行時特別積立預金取崩収入	92,000
○26年度		決算	
当初予算		・経常経費寄付金収入	1,121
・その他の収入	6,951	・その他の収入	8,988
		・施設整備等寄付金収入	526
○27年度		決算	
当初予算		・経常経費寄付金収入	1,312
・経常経費寄付金収入	150	・その他の収入	9,326
・その他の収入	7,039	・施設整備等寄付金収入	2,100

[ 参考：県が支出した修繕工事費 ]

※県が支出する計画修繕工事・各所管繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
2015年10月	583	管理棟屋外空調盤工事(583千円)
2015年11月	2,525	脱衣室床等修繕工事(2,525千円)
2015年12月	1,912	浄化槽上屋 屋上シート防水工事(1,912千円)
2016年1月	3,003	1.2階入口自動ドア(4箇所)(3,003千円)
2016年3月	2,042	消防用設備(非常用発電機等)(2,042千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： \_\_\_\_\_ 千円以上 )

[ 参考：資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応	対面	7 件	生活介護利用者の送迎の際、家族から車椅子の操作の仕方について質問があり、どの職員に対しても安心して送迎が任せられるように指導して欲しい。	職員間で操作方法の確認とポイントを再確認しその旨を家族に伝え了解を得る。
	電話	2 件		
事業内容		件		
		件		
その他	対面	1 件	特定の利用者が畑の中に石や物を投げられ、鳥獣用の電線に引っ掛かり電線が破損している。	直接畑と一緒に確認して謝罪する。特定利用者が園外に出る時は見守りの強化を図り、所在を確認すること等改善策を講じることで了解を得る。
	電話	2 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
8月27日	夜間から早朝にかけて転倒した様子で左肩の痛みを訴える。整形外科に通院、レントゲンの結果、左鎖骨折の診断。	本人が自力で更衣するためその時に転倒した可能性が高い。	①自力更衣は避けていただき職員の介助が必要、ベット周辺に衝撃吸収材などの整備を行う。
10月26日	おやつのカステラを食しているときに誤嚥し心停止になる。内科医による異物除去、支援員による救命救急法実施し、救急車にて搬送。	カステラの紙を取り忘れて提供してしまったことや、刻むなど、必要により介助等を行わなかったことが原因。	①おやつ時の見守り体制、おやつ提供の仕方等を再検討し緊急時対応訓練を強化する。 ③退院後、食事形態を変更し経過観察中。現在、体調良好であり、再発防止に努めるとともに、本人が望む食事提供を目指し、取組んでいる。
3月12日	夜間、支援室にきて椅子に座ろうとして転倒、整形外科に通院、レントゲン結果、左大腿骨頸部骨折で手術となる。	慣れていない場所、椅子に座る時は介助が必要であった。	①自立されてる方ではあるが慣れていない椅子への着席や居室変更、夜間帯の対応について再検討を行う。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。